

本願寺水道を歩こう

- **開催日**
4月11日(土)
- **出発時間**
午前10時
- **集合場所**
地下鉄蹴上駅1番出口
- **参加費**
500円



《本願寺水道》

明治時代、琵琶湖から京都まで疏水を引く大工事が行われました。

その水は、京都・蹴上の舟溜まりに流れ込み、さらに、京都のまちの中心を流れ、東本願寺の境内やお堀、渉成園に流れ込んでいます。

防火用水として整備された、京都を流れるこの水の道は、『本願寺水道』と呼ばれ、今でも琵琶湖と東本願寺をつなげています。

- 参加対象：子どもから大人まで（**小さなお子様は、親同伴でのご参加**をお願いします。）
- 注意事項 1：当日は、**雨天決行**です。また、**昼食は各自で用意**下さい。
- 注意事項 2：車の多い道路も通りますので、歩行時にはくれぐれも安全にご注意下さい。
- 後援・協力：京エコロジーセンター、京のアジェンダ21フォーラム
- お申込み：東本願寺 御遠忌本部事務室 TEL：075-371-9209 FAX：075-371-9222 E-mail：goenkihonbu@tomo-net.or.jp

『東本願寺と環境を考える市民プロジェクト』『本願寺水道を歩こう2009』開催のお知らせ

= 東本願寺と環境を考える市民プロジェクトの取組み =

「東本願寺と環境を考える市民プロジェクト」(※1)では、御影堂や阿弥陀堂などの木造建造物やお堀、渉成園といった東本願寺の持つ空間や機能を、『環境問題』や『地域防災』といった視点から見直す企画を開催し、東本願寺と地域社会との交流を進めながら、今後の環境問題への取組みを模索しています。

年間を通じて、「環境」や「防災」などに対するさまざまな取組みを実施し、これらの取組みを通して、市民の皆様とともに『環境問題』や『地域防災』の大切さを学び、考え、そして伝えていくパートナーシップが形成されることを願います。

※1『東本願寺と環境を考える市民プロジェクトとは… 東本願寺境内を環境問題に触れるフィールドとして活用し、東本願寺と地域社会との交流を進めながら、今後の環境問題への取組みを模索している東本願寺、環境NGO・NPO、そして市民のパートナーシップ組織です。

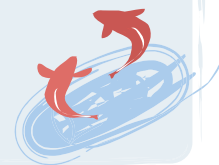
= 「本願寺水道を歩こう」開催の主旨 =

京都のまちの地下には、明治時代の近代文化遺産が今もひっそりと眠っています。

東本願寺を火災から守るために、明治時代の先人たちが大変な苦勞によって、京都のど真ん中をつらぬくように築いたこの文化遺産『本願寺水道』を、私たちはこれからも残していきたいと考えています。

琵琶湖からこの京都・東本願寺まで命の水を運ぶ『本願寺水道』。

一緒にその道を歩いて、当時、どのように造られたかを思い浮かべ、この近代文化遺産のこれからを一緒に考えてみませんか。



申込書

※ 事前にお申込みをお願いいたします。

1. 申込者名： _____ ※必須

2. 参加者名： _____ ※申込者以外で、同時にご参加の方がおられましたら、お書き下さい。

3. 申込者連絡先： 〒 _____

TEL： _____ FAX： _____ E-mail： _____

※お書きいただいた情報は、連続セミナーに関するご連絡以外に使用することはありません。

※お申込は、電話・FAX・E-mail(裏面参照)にてお願いいたします。なお、土日祝日の申込受付は、FAX、E-mailのみとなりますので、あらかじめご了承下さい。

※ お申込みは 東本願寺 御遠忌本部事務室 TEL：075-371-9209 FAX：075-371-9222 E-mail：goenkihonbu@tomo-net.or.jp